

## 調査実施結果

### 【財田川調査】2020年10月3日（土）

10月3日土曜日 財田川流域でプラスチックごみのモニタリング調査を行いました。親子含めて10人の県民の方々にご参加いただきました。

昨今、世界的な問題となっているプラスチックごみ、マイクロプラスチックがどこから海に運ばれてきているのかを調べるため、上流、中流、下流、河口近くの海岸の4か所でプラスチックの種類と劣化具合を調査シートに記入しながら、ごみの回収を行いました。

同じ条件で回収したごみの量は上流が1.6kg、中流が2.5kg、下流が0.7kg、海岸が1.5kgになりました。調査日の少し前にあった増水により川のごみが流されて少なくなっていたものの、中流調査場所の堰（蛇籠の鉄筋）には多くのビニールシートなどが引っかかっていました。また、河口近くの海岸の有明浜北側ではクリーンアップが行われていてごみは少なかったものの破片化しているプラスチックごみが多くありました。

参加者からは、「ビニールシートが多くあり驚いた」「海までごみが行くと小さく破片になっているのが分かった」などの意見がありました。



上流調査の様子



中流調査の様子



下流調査の様子



海岸調査の様子



データ確認、ふりかえり



海ごみの問題について

## 調査実施結果

【新川調査】2020年10月4日（日）

10月4日日曜日 三木町から高松市を貫流する新川流域でプラスチックごみのモニタリング調査を行いました。今回は親子含めて17人の県民の方々にご参加いただきました。

上流、中流、下流、河口近くの海岸の4か所でプラスチックの種類や劣化具合を調査シートに記入しながら、ごみの回収を行いました。

同じ条件で回収したごみの量は上流が1.6kg、中流が8.5kg、下流が4.2kg、海岸が7.9kgになりました。下流の調査場所にはタバコの吸い殻数百本が入った袋が捨てられてあったり、海岸で細くなったシートやトレイの破片が増えているのに参加者は驚いている様子でした。

参加者からは、「ごみのほとんどがプラスチックであることに気づいた」「タバコフィルターはどこにでも落ちているのに気がついた」「ごみの量が下流程増えていて、小さい破片になっている」などの意見がありました。



上流調査の様子



中流調査の様子



下流調査の様子



海岸調査の様子



海ごみ問題について



集合写真

## 調査実施結果

### 【土器川調査】2020年10月11日（日）

10月11日 日曜日 まんのう町から丸亀市を貫流する一級河川の土器川流域でプラスチックごみのモニタリング調査を行いました。今回は親子含めて15人の県民の方々にご参加いただきました。

調査は、上流、中流、下流、河口近くの海岸でプラスチックの種類や劣化具合を調査シートに記入しながら、ごみの回収を行いました。

調査場所が広い河川敷や河川敷の利活用できる場所となっている場合、上流から流れてきたごみだけでなくその場で捨てられたと考えられるごみが少なからずあったように感じました。

同じ条件で回収したごみの量は上流が9.2kg、中流が3.3kg、下流が8.0kg、海岸が12.0kgになりました。

参加者からは、「タバコの吸い殻が多いことに気づいた」「同じ河川でも場所によってごみの量や種類が違うのに気づいた」「海岸になると多くの種類のごみがあり、小さくなったごみを拾うのは大変」などの意見がありました。



上流調査の様子



中流調査の様子



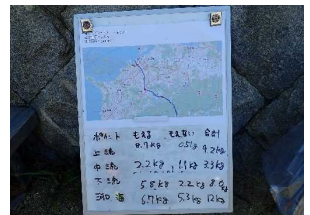
下流調査の様子



海岸調査の様子



集合写真



調査場所と回収量